

八戸市地域おこし協力隊活動  
状況報告書

八戸市長  
熊谷 雄一 殿

隊員氏名 大久保 加名子

次のとおり活動したことを報告します。

【活動報告月：2025年3月分】

1. 実施した活動の概要・状況

ECサイト(ローカルマーケットオンラインショップ)運営・改修作業、ふるさと納税業務(新規返礼品の提案)、クリッピング作業、SNSによる広報活動を行った。

(主な活動)

【地域おこし協力隊任期終了】

2022年4月より八戸市地域おこし協力隊に任用していただき、3年間活動を行った。新卒以降、12年間販売の仕事が続けてきたため、そのスキルを活かしながら販路拡大・マーケティング・PRの業務に携わりたいという思いがあり、1年目～2年目は八戸市農業経営振興センターにて、八戸ワイン産業振興プロジェクトに携わっていた。活動は、ほぼ全てが未経験の業務(ワイン関連業務、農作業、イベント企画、HP作成、情報発信、講演など)となり、全て手探り状態ではあったが、学びや新たなつながりが非常に多いものとなった。特に、自身が企画したイベントでは、参加者やイベントを知った方々から、新たな仕事の機会を複数戴けたのが一番の驚きであった。しかし、八戸ワインの認知度向上にどれだけ貢献できたのかを測ることができず、協力隊単体の活動ではささやかなものを感じ、自身の希望から、残り1年は組織として「地域製品の振興」や「交流人口の拡大」を目指すVISITはちのへに転籍させていただいた。

VISITはちのへの活動は、駅前にある店舗「はちのへ農園マルシェ」の開設・運営から始まり、ECサイト運営やふるさと納税業務に携わらせていただき、主に非対面での販売促進や商品提案、対面とは異なるマーケティング方法など、新たなナレッジを得ることができた。また、観光分野では主にSNSでの情報発信に関わり、高校卒業以来18年ぶりの八戸市及び八戸圏域は、知らないこと・知らない場所だらけであったが、業務を通して地域を知ることができた。

退任後の4月からは、VISITはちのへの職員として働かせていただくこととなった。協力隊期間中は学ばせていただくことの方が多かったが、今後は自身の存在意義を生み出せるような働き方を目指し、地域振興に貢献していくことが目標である。

最後になりましたが、この3年間は会社員ではできない貴重な経験と時間を過ごすことができました。協力隊活動期間中に関わってくださった全ての方に、この場を借りて心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。